

令和5年12月21日
第3回いわての森林づくり
県民税事業評価委員会
資料No. 1

いわての森林づくり県民税 (第4期) の取組状況について



令和5年12月
岩手県農林水産部

目 次

1 いわたの森林づくり県民税（第4期）の取組状況について

① いわた環境の森整備事業	
①-1 混交林誘導伐	1
①-2 ナラ林健全化	2
①-3 アカマツ広葉樹林化	3
①-4 森林環境再生造林	4
①-5 被害森林再生	5
①-6 枯死木除去	6
①-7 森林作業道整備	7
② 花粉症対策等採種園整備事業	8
③ 林野火災予防対策事業	9
④-1 県民参加の森林づくり促進事業	10
④-2 森林・山村多面的機能発揮対策事業	11
⑤ 「木育の推進等につながる県産木材活用」の取組	12
⑥ いわた森のゼミナール推進事業	13
⑦ 森林公園機能強化事業	14
⑧ 全国植樹祭開催準備	16
⑨ いわた森林づくり推進人材育成事業	20
⑩ いわたの森林づくり普及啓発事業	21



①-1 いわて環境の森整備事業（混交林誘導伐）

〔担当室課：林業振興課〕

I 事業の概要

間伐等の手入れが行われていない管理不十分な森林において、伐採率概ね5割以上の混交林誘導伐を実施し、公益的機能の高い針葉樹と広葉樹が入り混じった森林へ誘導します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	計画値※1	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	600ha	536.67ha	89.4%	121件
令和4年度	600ha	573.48ha	95.6%	130件
令和5年度※2	600ha	211.54ha	35.3%	49件
計	1,800ha	1,321.69ha		

※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までの混交林誘導伐の施工地確保延面積は、約1,322haの実績となりました。

令和3年度から4年度では、確保面積が増加しておりますが、近年の国産材の需要の高まりによる主伐等の素材生産と、その伐採跡地で行う造林や下刈の作業の増加による労務不足に加え、整備する森林が奥地化していること、また、1施工地当たりの面積が減少傾向にあり、面的な森林の確保が難しくなっている状況です。

混交林誘導伐等の施工地確保を推進していくため、県民税第4期から奥地化対策として取組を進めている森林作業道整備の活用を促進するとともに、これまで当事業を実施したことのない林業事業者を含め事業活用を促すなど、引き続き、施工地の確保に取り組んでいく必要があります。



整備前



整備後



①-2 いわて環境の森整備事業（ナラ林健全化）

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

ナラ枯れ被害の拡大を防ぐため、被害の周辺地域において、被害を受けやすい高齢なナラ等を含む広葉樹林を伐採し、ナラ枯れ被害に強い広葉樹林への若返りを促進します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	計画値※1	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	70 ha	69.24 ha	99%	8件
令和4年度	70 ha	85.25 ha	122%	10件
令和5年度※2	70 ha	51.14 ha	73%	8件
計	210 ha	205.63 ha		

※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までのナラ林健全化の確保面積は、約206haの実績となり、概ね計画どおり進んでいます。

本県の私有林面積の約半分は広葉樹であり、シイタケ、木炭、パルプチップなどの地域産業と深い関わりを持っており、これらの生産が盛んな北上高地や沿岸北部地域へのナラ枯れ被害の拡大が懸念されています。

被害が発生している周辺地域においては、引き続き、いわて環境の森整備事業（ナラ林健全化）によるナラ枯れに強い広葉樹林への更新を促進する必要があります。



実施前



実施後



①-3 いわて環境の森整備事業（アカマツ林広葉樹林化）

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

松くい虫被害の拡大を防ぐため、松くい虫被害が継続して発生している地域のアカマツ林において、枯死木を含むアカマツを伐採し、広葉樹林への樹種転換を促進します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	計画値※1	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	37 ha	45.75 ha	124%	8件
令和4年度	31 ha	104.29 ha	336%	11件
令和5年度※2	26 ha	51.39 ha	198%	4件
計	94 ha	201.43 ha		

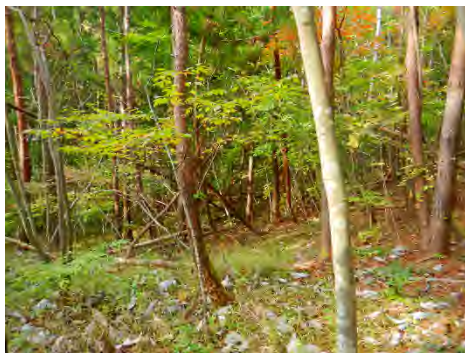
※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までのアカマツ林広葉樹林化の確保面積は、約201haとなり、計画を上回る実績となりました。

松くい虫被害の発生地域は拡大傾向にあるため、引き続き、被害先端地域の被害木の徹底駆除に加え、被害まん延地域では、アカマツ以外の樹種への転換を進める必要があります。



実施前



実施後



①-4 いわて環境の森整備事業（森林環境再生造林）

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

公益上重要でありながら、更新が図られていない伐採跡地において、植栽や下刈等を実施し、公益的機能を高度かつ安定的に発揮する森林を整備します。

II 令和3～5年度事業実績

年度	計画値※1	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	100ha	170.94ha	170.9%	32件
令和4年度	150ha	242.32ha	161.5%	47件
令和5年度※2	200ha	28.22ha	14.1%	8件
計	450ha	441.48ha		

※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

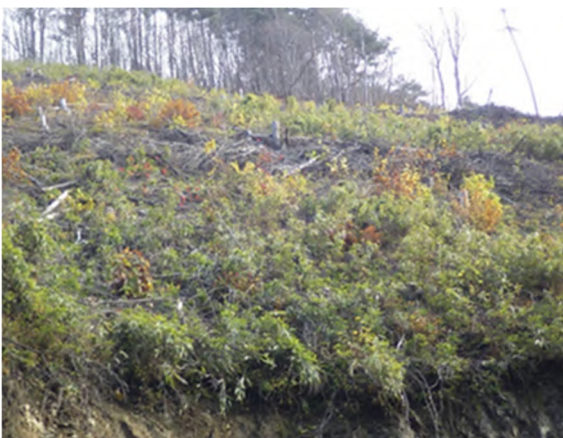
III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までの森林環境再生造林の確保面積は、約441haの実績となり、概ね計画どおり進んでいます。

公益上重要でありながら、更新が図られていない伐採跡地は未だ存在するため、引き続き、植栽の必要があります。

植栽に当たっては、春植栽及び秋植栽とも苗木が活着不良とならないよう適期に植栽を行うとともに、必要に応じ植栽箇所の下刈りを行う必要があります。

なお、シカの食害が懸念される箇所への植栽に当たっては、獣害から森林を守るための食害防止ネット柵の設置等の必要があります。



整備前



整備後



①-5 いわて環境の森整備事業（被害森林再生）

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

気象災害による被害を受けた森林において、早期の更新により公益的機能を回復させるため、倒木等の被害木を除去します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	計画値※1	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	5 ha	4.68 ha	94%	3件
令和4年度	5 ha	-	-	-
令和5年度※2	5 ha	-	-	-
計	15 ha	4.68 ha		

※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までの被害森林再生の確保面積は、雪害等の大きな被害が少なかったため、約5haの実績となりました。

引き続き、いわて環境の森整備事業（被害森林再生）を活用し、気象被害があった森林の速やかな再生を促進する必要があります。



実施前



実施後



①-6 いわて環境の森整備事業（枯死木除去）

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

森林の公益的機能の回復を図るとともに、人身被害や施設損壊等の二次的被害を防止するため、倒木のおそれのある松くい虫及びナラ枯れ被害による枯死木を除去します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	計画値※1	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	75 m ³	106.05 m ³	141%	15件
令和4年度	75 m ³	305.86 m ³	408%	17件
令和5年度※2	100 m ³	119.66 m ³	120%	6件
計	250 m ³	531.57 m ³		

※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までの枯死木除去の確保材積は、約532 m³となり、計画を上回る実績となりました。

松くい虫及びナラ枯れ被害の二次的被害を防止するため、引き続き、枯死木を速やかに除去する必要があります。



実施前



実施後



①-7 いわて環境の森整備事業（森林作業道整備）

〔担当室課：林業振興課〕

I 事業の概要

奥地に位置する管理の行き届かない森林において、混交林誘導伐、アカマツ林広葉樹林化、森林環境再生造林の事業を効率的に実施するため、作業等に必要な作業道の開設等を実施します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	計画値※ ¹	確保数量	達成率	承認件数
令和3年度	9,000m	3,771m	41.9%	1件
令和4年度	3,000m	-	-	-
令和5年度※ ²	2,500m	700m	28.0%	1件
計	14,500m	4,471m		

※ 計画値は事業計画の数値

※ 令和5年度の実績値は、11月末時点の承認分の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度11月末までの森林作業道整備の確保延長は、4,471mの実績となりました。

奥地化している混交林誘導伐等を推進していくためには、作業道整備が必要であり、実施した作業道施工地をモデルとして普及しながら、引き続き、森林作業道整備に取り組んでいく必要があります。



整備前



整備後



② 花粉症対策等採種園整備事業

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

花粉の少ない森林への転換を促進するため、花粉の少ないスギ等の苗木の安定供給に必要な採種園の整備を実施します。

II 令和3～5年度事業実績

(単位：ha)

実施年度	事業内容	花粉症対策スギミニチュア採種園		カラマツ特定母樹採種園	
		計画※1	実績	計画	実績
令和3年度	伐採	1.40	1.40	1.00	1.00
	整地・施肥	0.50	0.50	—	—
	植栽	0.41	0.41	—	—
令和4年度	伐採	1.50	1.50	1.00	1.00
	整地・施肥	1.00	1.00	1.00	1.00
	植栽	0.50	0.50	—	—
令和5年度※2	伐採	1.00	1.00	0.90	0.90
	整地・施肥	1.40	実施中	1.00	実施中
	植栽	1.00	1.00	1.00	1.00
計	伐採	3.90	3.90	2.90	2.90
	整地・施肥	2.90	1.50	2.00	1.00
	植栽	1.91	1.91	1.00	1.00

※1 計画値は事業計画の数値

※2 令和5年度の実績値は、11月末時点の数値

III 事業の評価

花粉症対策スギミニチュア採種園及びカラマツ特定母樹採種園の造成は、これまで計画どおりに実施しています。

引き続き、旧採種園の伐採、整地・施肥、植栽等による、花粉症対策スギミニチュア採種園及びカラマツ特定母樹採種園の計画的な造成が必要です。



③ 林野火災予防対策事業

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

林野火災から県民共通の財産である森林を守るため、林野火災を未然に防ぐための広報宣伝活動を行うとともに、地域で取り組む防火活動を支援します。

II 令和3～5年度事業実績

	内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度※
1	ラジオCM放送	90回	93回	75回
2	テレビCM放送	104回	84回	72回
3	SMSによるCM配信	-	約22万回	約22万回
4	セスナ広報	13日間	11日間	-
5	ボランティア活動支援	釜石地区 30名	県南地区 54名	二戸地区 8名
6	路網マップ整備	釜石市内 61ha	釜石市内 61ha	住田町内 61ha
7	配送車両へのマグネットシート掲示による広報	-	-	3社 362枚

※ 令和5年度の実績値は、11月末時点の数値

III 事業の評価

テレビ・ラジオCM等による、県民に対する林野火災予防の普及啓発を行うほか、林野火災予防パトロールなどを行うボランティア団体の活動支援を行いました。

令和3年度から令和5年度までの林野火災は、発生件数78件、被害面積約17haとなりました。

引き続き、林野火災から県民共通の財産である森林を守るため、林野火災を未然に防ぐための広報宣伝活動や地域で取り組む防火活動を支援する必要があります。

表 県内の林野火災発生状況の推移

	H30	R1	R2	R3	R4	R5※
火災件数(うち3月～5月)	33(23)	59(42)	38(26)	26(19)	30(23)	22(15)
面積(ha)	58.9	8.7	14.9	3.0	10.29	4.1

※ 令和5年11月14日現在



④－1 県民参加の森林づくり促進事業

〔担当：林業振興課〕

I 事業の概要

県民の森林づくりへの理解の醸成と積極的な参画の促進を図るため、地域住民や団体等が主体的に取り組む森林整備活動等を支援します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	活動区分				団体数 (計)	人数 (計)
	森林整備活動	人材育成活動	森林環境 学習活動	県産材利用 促進活動		
令和3年度	7件	6件	17件	4件	34件	10,526人
令和4年度	8件	3件	18件	2件	31件	10,908人
令和5年度※	10件	5件	18件	2件	35件	11,000人
計	25件	14件	53件	8件	100件	32,434人

※ 令和5年度の実績値は、11月末時点の数値

III 事業の評価

令和3年度から令和5年度にかけて、延べ100団体、32,434人が事業に参画し、多くの県民が森林整備活動や人材育成活動、森林環境学習等に取り組みました。

また、本事業を通じて地域住民等が主体的に取り組む森林整備活動や森林環境学習等を支援することにより、県民の森林に対する関心が高まり、森林環境保全に対する地域住民等の理解と積極的な参画が図られました。

事業を通してより多くの県民が主体的に森林づくりに参画する機会を提供し、県民の森林環境保全への理解醸成を図るため、引き続き、事業を実施していく必要があります。





④－２ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

〔担当：森林整備課〕

I 事業の概要

森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者、地域住民等が協力して実施する森林の保全活動や山村地域の活性化に資する取組に対して支援を行います。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	主な活動実績			活動組織 団体数
	地域環境保全 (里山林整備・ 侵入竹の伐採等)	森林資源利用 (薪炭利用等の ための伐採等)	森林機能強化 (森林作業道)	
令和3年度	838 ha	252 ha	4,470 m	97
令和4年度	772 ha	213 ha	1,970 m	85
令和5年度※1	713 ha	69 ha	4,158 m	77
計※2	2,323 ha	534 ha	10,598 m	123

※1 令和5年度の実績値は、年度内の予定数量

※2 活動組織団体の合計は、実団体数

III 事業の評価

令和3年度から5年度にかけて、123団体（延べ259団体）が事業に取り組み、本事業の目的である、森林の保管理や山村地域の活性化に資する取組が着実に実行されました。

主な活動実績は、地域環境保全タイプ（里山林整備等）2,323ha、森林資源利用タイプ（薪炭利用の伐採等）534ha、森林機能強化（森林作業道の開設）10,598mとなりました。

本事業の実施を通して、荒廃していた里山林等の景観改善や、薪炭材など森林由来の資源の利用促進が図られました。

引き続き、各地域の活動が、森林の多面的機能の発揮や、山村地域のコミュニティの維持・活性化が図られるよう、地域における積極的な活動を支援する必要があります。



地域環境保全（いわて森林を守る会）



森林資源利用（となりの杜）



⑤ 「木育の推進等につながる県産木材活用」の取組み

〔担当：林業振興課〕

I 事業の概要

県民向け施設等への県産木材活用の促進を図ることにより、県産木材の温もりや心地よさなどを感じてもらいながら、木材利用の意義や森林づくりへの理解醸成、環境整備の普及強化を図ることを目的に、県庁各部局による県民税を活用した木育推進につながる取組を実施します。

II 令和3～5年度事業実績

実施年度	部局数	事業数	導入施設数	主な内容
令和3年度	8部局	11件	29件	子どもの森への木製遊具導入、いわて県民情報交流センターへの木製品設置等
令和4年度	8部局	11件	18件	岩手県営運動公園（日本庭園木造橋）整備、花巻空港木製パーテーション導入等
令和5年度※	6部局	6件	31件	庁内保育所、県内保育所、県立病院院内保育所等における木製玩具導入、県立図書館への木製品導入等
計	22部局	28件	78件	

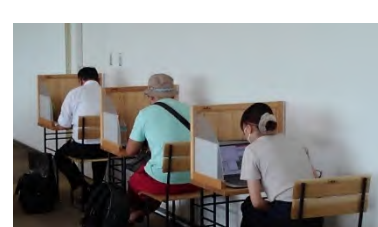
※ 令和5年度の実績値は、11月末時点の数値

III 事業の評価

教育施設や公共施設において、県産木材を活用した木製品の導入や、不特定多数に向けた展示や案内板の設置等を通じた環境整備等 28 事業を実施し、木育の推進や県産材利用促進につながる取組を実施しました。

事業を実施した施設等においては、木製品導入等により、県産木材の温もりや心地よさなどを感じてもらえることが出来ているほか、県民税の焼き印やシール、パンフレットの配架等により、いわての森林づくり県民税の情報発信などの、普及啓発を行っています。

引き続き、事業を通じて、県民が県産木材に触れる機会を提供し木育を推進する必要があります。





⑥ いわて森のゼミナール推進事業

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

森林・林業に対する理解の醸成を図るため、児童生徒をはじめ、広く県民の方々を対象として、森林・林業に関して学習する機会を提供します。

II 令和3～5年度事業実績

メニュー	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度※	合計
森林環境学習会	開催回数	27	27	30	84
	参加人数	591	709	692	1,992
森林環境学習指導者研修会	開催回数	2	2	2	6
	参加人数	39	26	32	97

※ 令和5年度は、年度内の見込み数量

III 事業の評価

小中学校や団体等において、延べ1,992名の児童・生徒を対象に、森林環境学習会を84回開催するとともに、活動事例紹介や現地研修、情報交換等を実施する指導者研修会（森林環境学習指導者研修会）を6回開催し、延べ97名が参加しました。

森林環境学習会では、森林インストラクター等の指導により、児童・生徒が森林の働きやその果たす役割を学びました。また、森林環境学習指導者研修会では、活動事例紹介、現地研修や情報交換等を通じて、県内各地における森林環境学習の活動を実践するリーダーの資質向上が図られました。

引き続き、森林環境について学習する機会を提供するため、児童・生徒等を対象とした森林環境学習会や、指導者のスキルアップを図る研修会等を開催する必要があります。



森林環境学習会(樹木観察)



森林環境学習会(木工・クラフト体験)



指導者研修会



⑦ 森林公園機能強化事業

〔担当室課：森林保全課〕

I 事業の概要

広く県民の森林・林業に対する理解の醸成を図るため、森林環境教育拠点施設である森林公園の機能強化を実施します。

II 令和3～5年度事業実績

【令和3年度施設整備実績】

公園名	区分	内容	事業費 (千円)
県民の森	学習施設	木質資源有効活用例展示導入(チップホイラー) (1台)	88,891
	屋外	森林整備(0.98ha) 転落防止柵整備(185m)、遊歩道整備(501m)、 ウッドデッキ整備(1基)、案内板整備(3基)、 誘導標整備(2基)	
滝沢	学習施設	トイレ洋式化(1基)	512
	屋外	車イス用スロープ設置(1箇所)	
千貫石	学習施設	トイレ洋式化(3基)	1,748
大窪山	学習施設	木育スペース整備	8,027
	屋外	遊歩道整備(木橋2基)	
折爪岳	屋外	遊歩道整備(木橋5基)	9,041
計			108,219

【令和4年度施設整備実績】

公園名	区分	内容	事業費 (千円)
県民の森	学習施設	木育スペース整備(一式) 映像展示整備(1台)	6,049
滝沢	屋外	遊歩道整備(304m)、駐車場舗装(122㎡)、 案内板整備(2基)、標識等整備(4基)、 ベンチ設置(3基)	22,558
千貫石	学習施設	木育スペース整備(一式)	9,055
	屋外	案内板整備(3基)、標識等整備(7基)、 ベンチ設置(3基) 森林整備(5.3ha)	
大窪山	学習施設	トイレ洋式化(3基)	6,005
	屋外	案内板整備(1基)、標識等整備(3基)、 ベンチ設置(3基)	
折爪岳	学習施設	木育スペース整備(一式) トイレ洋式化(3基)	9,796
	屋外	標識等整備(5基)、ベンチ設置(3基)	
計			53,463

【令和5年度施設整備計画】

公園名	区分	内容	事業費 (千円)
県民の森	屋外	看板塔整備、遊歩道整備(406m)	10,892
滝沢	屋外	森林整備(5ha)	1,873
千貫石	屋外	森林整備(5ha)	1,873
折爪岳	屋外	森林整備(5ha)	1,873
計			16,511

Ⅲ 事業の評価

森林公園の機能強化を図るため、木材の良さや利用の意義を学べる木育スペースの整備や、バリアフリー化、外国人利用者向けの多言語化等に対応した施設整備を行いました。

また、木育スペースの完成に合わせ、地元のこども園等の園児を招いてお披露目会を開催し、報道機関を通じた情報発信などのPRを行ったほか、県や指定管理者のSNS等による情報発信を行いました。

これらの取組により、令和5年10月末時点の森林公園全体の利用者数は、対前年同月比113%の125,533人に増加しています。

特に、木育スペースの整備により施設利用者が大幅に増加し、同時期の施設利用者は、対前年同月比137%の39,036人となるなど、リニューアルの効果が見られました。

森林公園の施設内には、設置当時のまま更新されていない展示もあることから、森林環境教育の拠点としての機能を発揮するため、引き続き、森林公園のリニューアルに取り組んでいく必要があります。

【施設整備状況】



多様な年齢層への対応
(木育スペース整備)



バリアフリー化
(遊歩道整備)



外国人利用者への対応
(案内板整備)



⑧ 全国植樹祭の開催

〔担当室課：全国植樹祭推進室〕

I 事業の概要

全国植樹祭の開催（令和5年）に加え、様々な機運醸成の取組を通じて森林の役割や重要性、県民税の趣旨や取組をPRします。

II 令和3～5年度事業実績

1 全国植樹祭の開催機運の醸成

(1) 全国植樹祭公式ホームページ・Twitterでの情報発信（令和3～5年度）

公式ホームページや公式Twitterアカウントを開設し、全国植樹祭の開催概要や準備状況と併せて、県民税の趣旨や取組を情報発信しました。

(2) 広報誌による情報発信（令和3～5年度）

広報誌「緑のかけはし そばっち通信」を第6号まで作成し、イベントでの配布を始め、関係各所に配布し、県民税を活用して開催準備を進めてきたことを周知しました。



そばっち通信でのPR

(3) 「第73回全国植樹祭1年前記念イベント」等の実施（令和4年度）

全国植樹祭を岩手県で開催することの周知や、開催機運の醸成を図るため、「第73回全国植樹祭1年前記念イベント」を令和4年7月9日(土)に「岩手県県民の森（八幡平市）」で開催しました。

PRイベントでは、岩手の森林・林業紹介ブースにて、県民税及び木材利用推進に関するブース展示を実施しました。

(4) 「木製地球儀リレー」の実施（令和4年度）

全国植樹祭の開催を全県的に盛り上げるため、全国植樹祭のシンボルである「木製地球儀」を県内全市町村で巡回展示しました。

各市町村で実施した木製地球儀の引渡しセレモニーに併せ、県民税事業の普及啓発に取り組みました。

(5) 県内児童等による苗木の育成（苗木のスクールステイ）（令和3～4年度）

全国植樹祭で使用する苗木を緑の少年団及び小・中学校の協力により育成する「苗木のスクールステイ」において、県内の児童・生徒に対し森林環境学習を実施しました。

- ・令和3年度 30 団体・学校 654 人
- ・令和4年度 54 団体・学校 1,404 人

(6) 「200 日前カウントダウンイベント」の実施（令和4年度）

全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、「200 日前カウントダウンイベント」を令和4年11月16日に「岩手県庁前（盛岡市）」で開催しました。

イベントでは、雫石町立御明神（おみょうじん）小学校（苗木のスクールステイ参加校）の児童と達増知事がカウントダウンボードの除幕を行ったほか、児童が苗木のスクールステイで育成した苗木を県へ引き渡しました。

なお、カウントダウンボードは、県産広葉樹材6種を使用し、県民税マークを掲示しています。

(7) 「100 日前カウントダウンイベント」の実施（令和4年度）

全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、「100 日前カウントダウンイベント」を令和5年2月25日に「アバッセたかた（陸前高田市）」で開催しました。

イベントでは、木製地球儀リレーの全33市町村完走及び木製楯の完成セレモニーを行ったほか、県民税事業の普及啓発を行いました。



「木製地球儀リレー」完走セレモニー

(8) 市町村イベント等におけるPR活動（令和3～4年度）

県内外で開催される緑化イベントや市町村産業まつり等において、全国植樹祭の開催を広く県民に周知するとともに、県民税を活用して開催準備を進めてきたことを周知しました。

- ・令和3年度 12件
- ・令和4年度 49件
- ・令和5年度 3件

2 全国植樹祭の開催（令和5年度）

(1) 開催日：令和5年6月4日（日）

(2) 大会テーマ：「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」

(3) 会場

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ア 式典会場 | 高田松原津波復興祈念公園（陸前高田市） |
| イ 植樹会場 | 高田松原運動公園（陸前高田市） |
| ウ サテライト会場 | イオンモール盛岡（盛岡市） |
| | 江釣子ショッピングセンター・パル（北上市） |
| | 道の駅 いわて北三陸（久慈市） |

(4) 参加者：7,081人

（招待者1,712人、実施本部員及び協力員等2,391人、サテライト会場2,978人）

なお、当日の記念式典の様子を配信したYouTubeの視聴数は、約2万件



大会ポスター原画

(5) 行事概要

ア 式典行事

プロローグ	プロローグアトラクション、感謝状の贈呈 など
記念式典	黙とう、主催者あいさつ、天皇陛下のおことば、表彰、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き、大会テーマの表現、大会宣言 など
エピローグ	エピローグアトラクション

イ 植樹行事 招待者等による記念植樹 約 3,200 本



天皇陛下お手植え



苗木の贈呈



大会テーマの表現



招待者記念植樹



お野立所



お手播き箱



ウェルカムボード



ベンチ



プランターカバー

3 記念誌・記録DVDの作成（令和5年度）

県民税を活用して開催準備を進めてきた全国植樹祭の当日の様子や、開催までの取組についての記録誌とDVDを作成しています。

Ⅲ 事業の評価

全国植樹祭の開催準備から当日の開催を通じて、森林・林業の役割や重要性のほか、県民税の趣旨や取組について積極的に発信してきたことにより、森林環境保全に対する県民意識の醸成が進み、豊かな森林を守り、育み、次の世代を担う子どもたちへと、確実に繋いでいく契機とすることができました。

緑の少年団や中学生・高校生、林業に携わる若者などが、岩手の豊かで多様な森林・林業の素晴らしさや、復興支援に対する感謝の気持ち、緑豊かな森林を引き継いでいく決意を力強く発信するなど、本県ならではの特色ある有意義な大会を開催することができました。

全国植樹祭の開催を契機として、健全で豊かな森林を次世代へ引き継いでいくため、県民総参加による森林づくりと、森林資源の循環利用等による森林の公益的機能の増進、林業の持続的で健全な発展に向けた取組を推進する必要があります。



⑨ いわて森林づくり推進人材育成事業

〔担当室課：森林整備課〕

I 事業の概要

地域における森林整備活動を推進するため、公益的機能の維持増進に向けた森林の整備・保全等に関する幅広い専門知識と技術を有し、地域に根ざして関係者の合意形成等を図る人材（いわて森林づくりコーディネーター）を育成します。

II 令和3～5年度事業実績

(単位:人)

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度*	計
受講者	新規	16	16	12	44
	継続	—	10	17	27
	計	16	26	29	71
	(全課程修了者)	(6)	(9)	(13)	(28)
コーディネーター認定者		6	9	13	28

※ 令和5年度の実績値は、11月末時点の数値

III 事業の評価

地域の森林整備活動の核となることが期待される者を対象として、環境重視の森林づくりに関する研修をはじめ、合意形成に必要なコミュニケーション研修、森林整備活動における安全指導研修等を実施しました。

その後、すべての研修課程を修了し、かつ、その他要件を満たした者を「いわて森林づくりコーディネーター」として認定しました。

引き続き、地域における森林整備活動を推進するため、地域に根ざして関係者の合意形成等を図る人材（いわて森林づくりコーディネーター）を育成する必要があります。



森林づくり活動実践研修



森林づくり活動安全講習



⑩ いわての森林づくり県民税普及啓発事業

〔担当室課：林業振興課〕

I 事業の概要

森林の役割や重要性のほか、いわての森林づくり県民税の趣旨や取り組み等について、森林所有者や県民に対し周知・情報発信し、事業の推進や森林づくりに係る関心を高めるとともに、県民税の取り組み等について認知度向上を図ります。

II 令和3～5年度事業実績（令和5年度は見込）

1 いわて森林づくり県民税の認知度向上に向けた取組

(1) テレビCM、新聞広告、SNS等による情報発信

① テレビCM（令和3年度）

県内民放4局で15秒CMを放映：（2種類：計220本）

【放送時期：上期R3.10.22～11.14（110本）、下期R3.12.24～R4.1.16（110本）】



② 新聞紙面広告（令和3年度）

岩手日報記事下新聞広告（全5段カラー）

【掲載日：R3.10.15、R3.12.26】



③ SNS等（令和3～5年度）

・Yahoo! JAPAN、Twitter、LINE、Facebook、Instagram、YouTubeでウェブ広告を実施

【期間：R3.12.13～R4.1.31、総インプレッション数2,315,124回、総クリック数8,303回】

・TwitterとInstagramを通じた定期的な情報発信を実施

(2) チラシの作成・配布（令和3～5年度）

いわての森林づくり県民税を財源とする事業内容等の周知を図るため、森林所有者向けと一般県民向けの2種類のチラシを作成・配布しました。



(森林所有者向け)



(一般向け)



(3) 森林環境学習パンフレットの配布（令和3～5年度）

県内小学校の児童に、岩手県の森林の姿や森林の役割、林業について学んでもらい、森林の大切さを理解してもらうため、平成30年度に作成した森林環境学習パンフレットを12,000部増刷し、県内各小学校に配付しました。



(いわての森林の恵みガイドブック：A4版12頁)

Ⅲ 事業の評価

各種広告やチラシの配布により、多くの問い合わせをいただいております。「いわて環境の森整備事業」の施工地確保につながることを期待されます。

令和4年度に実施した県民意識アンケート調査において「岩手県が県民税を導入していることを知っている」と答えた人の割合は、約43パーセントになっています。

森林の役割や重要性のほか、県民税の趣旨や取り組み等について、引き続き、森林所有者や県民に対し周知・情報発信し、事業の推進や森林づくりに係る関心を高めるための普及啓発を行う必要があります。



いわ
ての  しん
りん づくり
県民税
SINCE 2006

アカマツ林広葉樹林化の施工地現地調査 について

農林水産部 森林整備課

1 調査の目的

松くい虫被害地内にある松林を高木性の広葉樹林に樹種転換するアカマツ林広葉樹林化について、事業実施後の広葉樹の生育状況を確認するもの。

2 調査項目

(1) 「林内景観写真の撮影」

施工後の広葉樹の生育状況と主な生育樹種の撮影

(2) 「簡易な標準地による高木性広葉樹の本数調査」

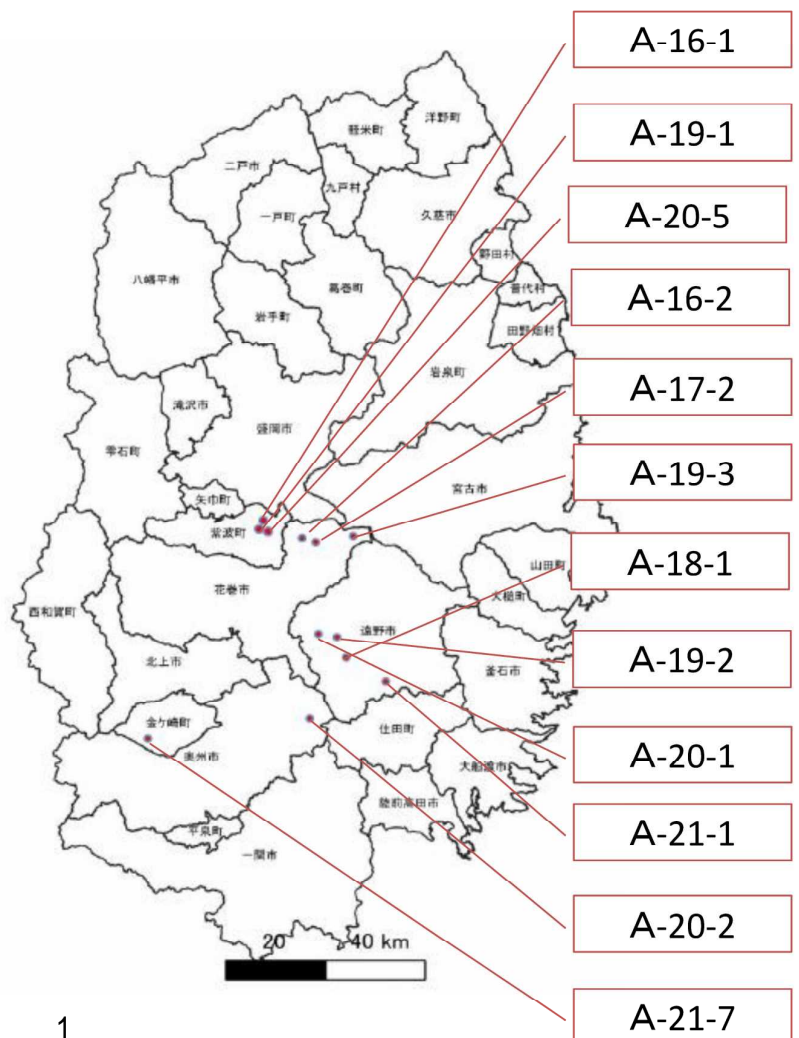
- 4 m x 25m (0.01ha) を標準値として、標準地の中に生立する「胸高直径 1 cm以上の高木性広葉樹の本数」を「樹种群別」にカウント
- 施工地面積別にプロット数を決めて、最終的にヘクタール当たりの広葉樹の本数を推定

3 調査対象等

(1) 2016年（H28）から2021年（R3）までに実施した施工地、12箇所を調査を実施。

(2) 調査時期は5月及び9月（広葉樹の樹種が判別しやすい時期）

(3) 調査市町村は、①紫波町、②花巻市、③遠野市、④奥州市、⑤金ヶ崎町の松くい虫被害地



4 結果

(1) A-16-1

ア 施工地

紫波町紫野地内

イ 実施年度（経過年数）

平成28年度（7年）

ウ 事業主体

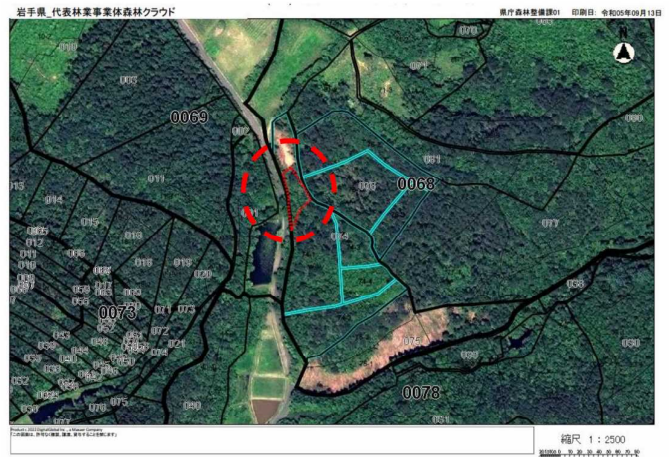
紫波町

エ 実施面積（プロット数）

0.16ha（1ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地(A-16-1)



施工地の実施前の写真

A-16-1(紫波町)

集計	本数	割合
エゴノキ	16	30%
サクラ類	13	24%
クリ	8	15%
ナラ類	5	9%
その他※	12	22%
	54	本/0.01ha
	5,400	本/ha

※その他樹種

ヤマモミジ

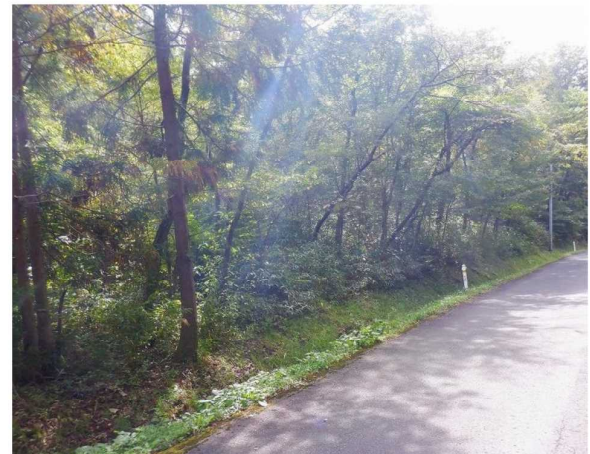
カエデ類

ミズキ

アオダモ

ヤマボウシ

高木性広葉樹の本数



林内写真

(2) A-19-1

ア 施工地

紫波町赤沢地内

イ 実施年度（経過年数）

令和元年度（4年）

ウ 事業主体

紫波町

エ 実施面積（プロット数）

1.05ha（4ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

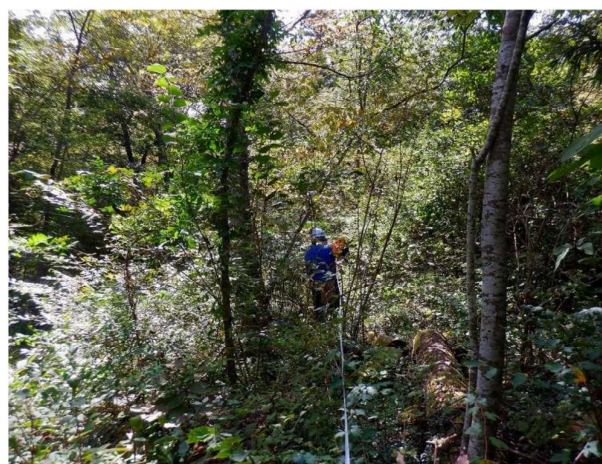
A-19-1(紫波町)

集計	本数	割合
エゴノキ	47	27%
ナラ類	40	23%
アオハダ	24	14%
アオダモ	18	10%
ホオノキ	16	9%
クリ	8	5%
その他※	24	14%
	177	本/0.04ha
	4,425	本/ha

※その他樹種

サクラ類	ヤマハンノキ
ハクウンボク	コシアブラ
カエデ類	シナノキ
トネリコ	ツリバナ
ミヤマガマズミ	

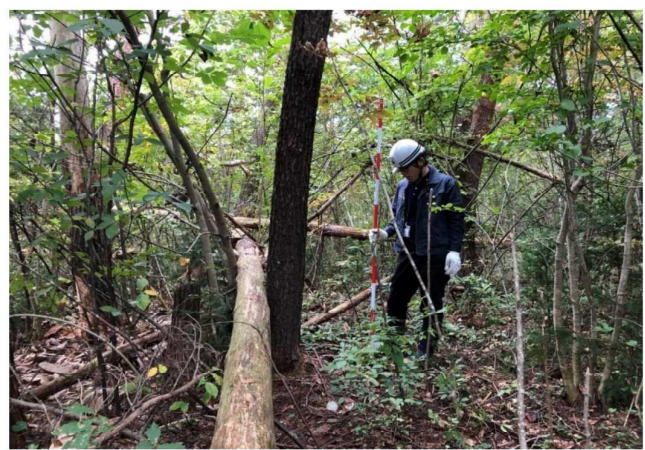
高木性広葉樹の本数



林内写真



施工地の概要



施工地の実施前の写真

(3) A-20-5

ア 施工地

紫波町佐比内地内

イ 実施年度 (経過年数)

令和2年度 (3年)

ウ 事業主体

紫波町

エ 実施面積 (プロット数)

1.02ha (4ヶ所)

オ 調査結果

下表のとおり

A-20-5 (紫波町)

集計	本数	割合
アオダモ	68	32%
ホオノキ	33	16%
エゴノキ	32	15%
ナラ類	25	12%
アオハダ	24	11%
サクラ類	14	7%
その他※	15	7%
	211	本/0.04ha
	5,275	本/ha

※その他樹種

- ヤマボウシ クリ
- ヤマモミジ コブシ
- オオカメノキ
- カエデ類

高木性広葉樹の本数



林内写真

(4) A-16-2

ア 施工地

花巻市高松地内

イ 実施年度（経過年数）

平成28年度（7年）

ウ 事業主体

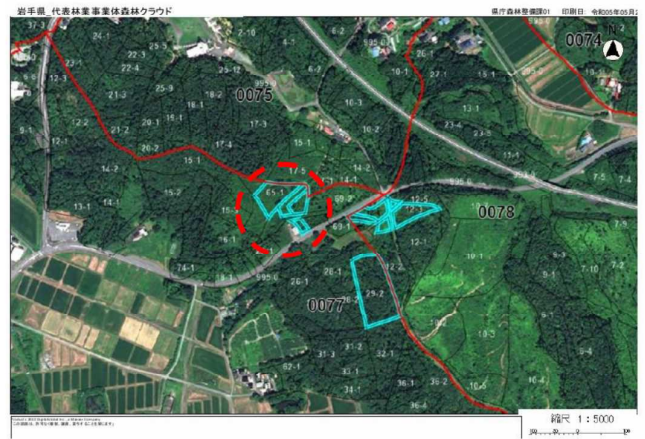
花巻市

エ 実施面積（プロット数）

2.68ha（1ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

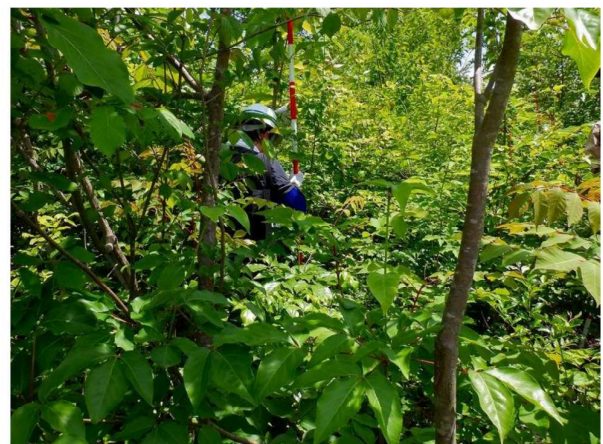
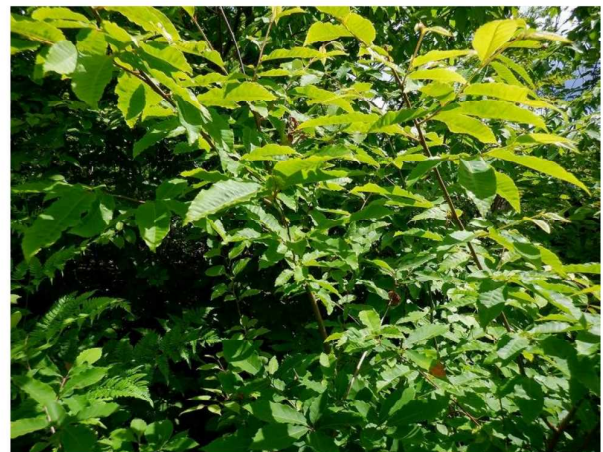
A-16-2 (花巻市)

集計	本数	割合
ク	12	34%
ナ	9	26%
カ	6	17%
サ	6	17%
その他※	2	6%
	35	本/0.01ha
	3,500	本/ha

※その他樹種

タカノツメ

ホオノキ



高木性広葉樹の本数

(5) A-17-2

ア 施工地

花巻市高松地内

イ 実施年度（経過年数）

平成29年度（6年）

ウ 事業主体

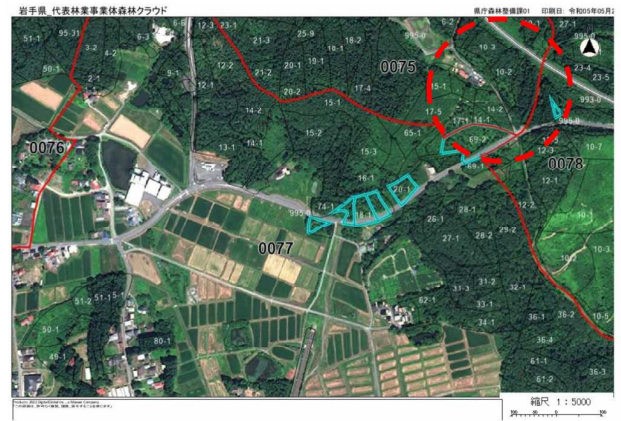
花巻市

エ 実施面積（プロット数）

3.47ha（7ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



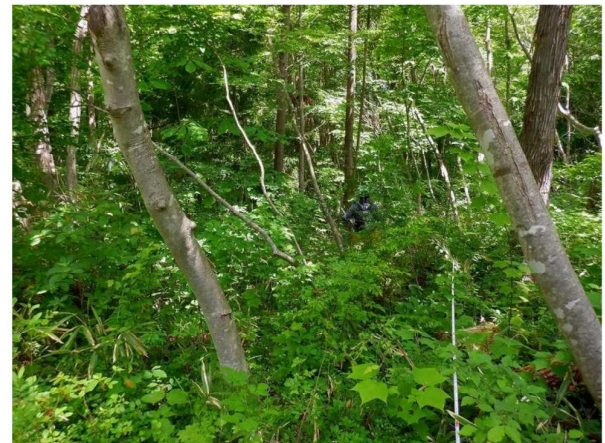
施工地の実施前の写真

A-17-2（花巻市）

集計	本数	割合
クリ	23	17%
サクラ類	22	16%
カエデ類	18	13%
タカノツメ	18	13%
ナラ類	17	13%
ミズキ	13	10%
アオダモ	9	7%
その他※	16	12%
	136	本/0.07ha
	1,942	本/ha

※その他樹種
 ヤマボウシ
 アカシデ
 コシアブラ
 エゴノキ
 ホオノキ

高木性広葉樹の本数



林内写真

(6) A-19-3

ア 施工地

花巻市土沢地内

イ 実施年度（経過年数）

令和2年度（3年）

ウ 事業主体

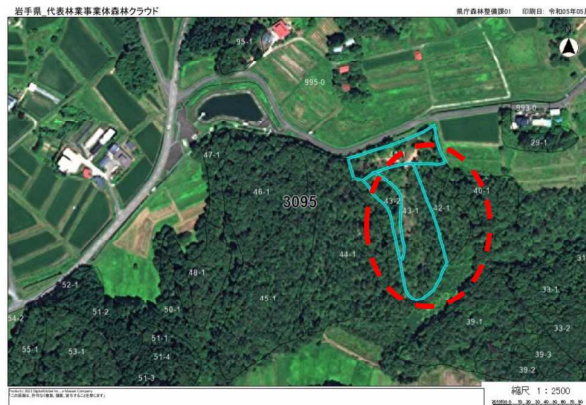
花巻市森林組合

エ 実施面積（プロット数）

1.28ha（4ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



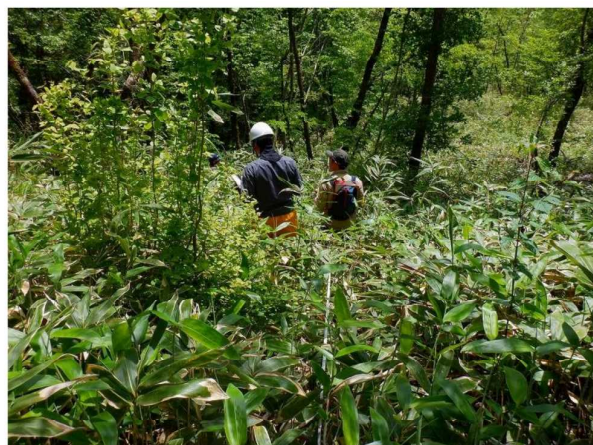
施工地の実施前の写真

A-19-3 (花巻市)

集計	本数	割合
サクラ類	15	38%
ナラ類	9	23%
タカノツメ	4	10%
ヤナギ	3	8%
その他※	8	21%
	39	本/0.04ha
	975	本/ha

※その他樹種

- コシアブラ
- ヤマボウシ
- エゴノキ
- カエデ類
- ホオノキ
- ミズキ



高木性広葉樹の本数

林内写真

(7) A-18-1

ア 施工地

遠野市宮守町下宮守地内

イ 実施年度（経過年数）

令和元年度（5年）

ウ 事業主体

遠野市

エ 実施面積（プロット数）

2.36ha（3ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

A-18-1（遠野市）

集計	本数	割合
エゴノキ	74	31%
ナラ類	70	30%
アオハダ	27	11%
ホオノキ	20	9%
アオダモ	13	6%
クリ	13	6%
その他※	18	8%
	235	本/0.03ha
	7,833	本/ha

※その他樹種

サクラ類

アワブキ

コブシ

イソノキ

コシアブラ

タカノツメ

高木性広葉樹の本数



林内写真

(8) A-19-2

ア 施工地

遠野市宮守町下宮守地内

イ 実施年度（経過年数）

令和2年度（3年）

ウ 事業主体

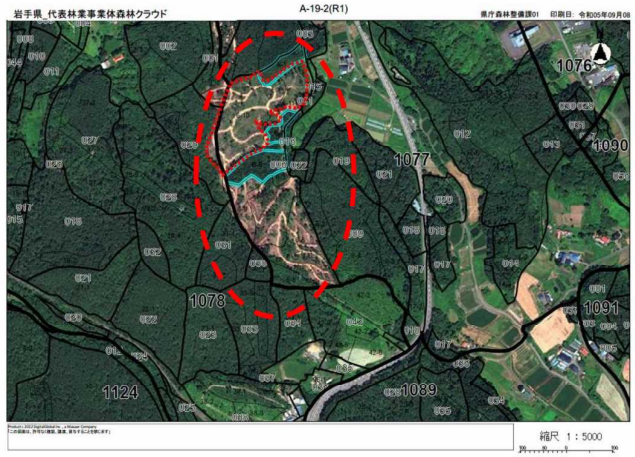
遠野市

エ 実施面積（プロット数）

7.42ha（6ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

A-19-2 (遠野市)

集計	本数	割合
エゴノキ	97	27%
アオダモ	45	13%
アオハダ	44	12%
クリ	38	11%
ホオノキ	34	10%
サクラ類	30	8%
ナラ類	25	7%
その他※	40	11%
	353	本/0.06ha
	5,883	本/ha

※その他樹種

- カエデ類
- コブシ
- コシアブラ
- コクサギ
- タカノツメ
- クルミ
- ヤマボウシ
- レンゲツツジ

高木性広葉樹の本数



林内写真

(9) A-20-1

ア 施工地

遠野市宮守町下宮守地内

イ 実施年度（経過年数）

令和2年度（3年）

ウ 事業主体

遠野地方森林組合

エ 実施面積（プロット数）

6.68ha（6ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

A-20-1（遠野市）

集計	本数	割合
ナラ類	79	32%
アオダモ	40	16%
クリ	39	16%
ホオノキ	22	9%
アオハダ	21	9%
エゴノキ	14	6%
サクラ類	14	6%
その他※	18	7%
	247	本/0.06ha
	4,116	本/ha

- ※その他樹種
 カエデ類
 アカシデ
 アワブキ
 ハクウンボク
 クルミ
 ヤマボウシ
 レンゲツツジ

高木性広葉樹の本数



林内写真

(10) A-21-1

ア 施工地

遠野市宮守町下鱒沢地内

イ 実施年度（経過年数）

令和3年度（2年）

ウ 事業主体

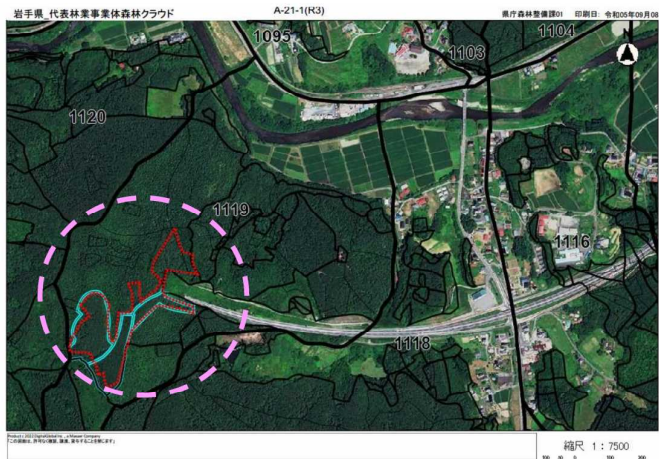
遠野地方森林組合

エ 実施面積（プロット数）

5.26ha（6ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

A-21-1（遠野市）

集計	本数	割合
カエデ類	71	34%
ホオノキ	49	23%
サクラ類	23	11%
クサギ	22	10%
コブシ	12	6%
アオダモ	8	4%
その他※	26	12%
	211	本/0.06ha
	3,516	本/ha

※その他樹種

- | | |
|--------|-------|
| アズキナシ | シナノキ |
| エゴノキ | ナラ類 |
| ナナカマド | アオハダ |
| ハクウンボク | タカノツメ |
| コシアブラ | モミジ類 |

高木性広葉樹の本数



林内写真

(11) A-20-2

ア 施工地

奥州市江刺米里地内

イ 実施年度（経過年数）

令和2年度（3年）

ウ 事業主体

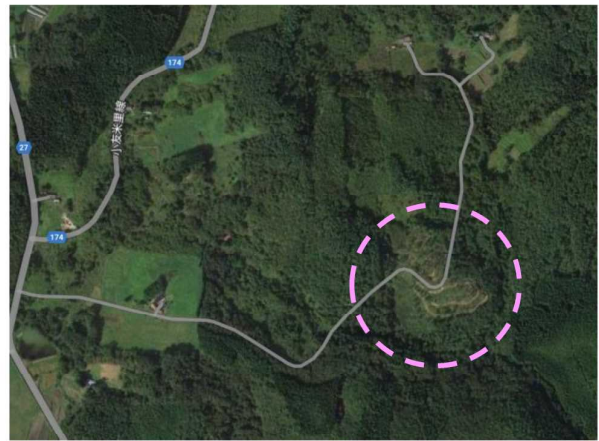
フォレスト創森

エ 実施面積（プロット数）

1.87ha（4ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

A-20-2 (奥州市)

集計	本数	割合
ナラ類	35	43%
クリ	15	19%
サクラ類	11	14%
ミズキ	6	7%
アカシデ	5	6%
その他※	9	11%
	81	本/0.04ha
	2,025	本/ha

※その他樹種

- アオハダ
- カエデ類
- ホオノキ
- アワブキ



高木性広葉樹の本数

林内写真

(11) A-21-7

ア 施工地

金ヶ崎町永栄地内

イ 実施年度（経過年数）

令和3年度（2年）

ウ 事業主体

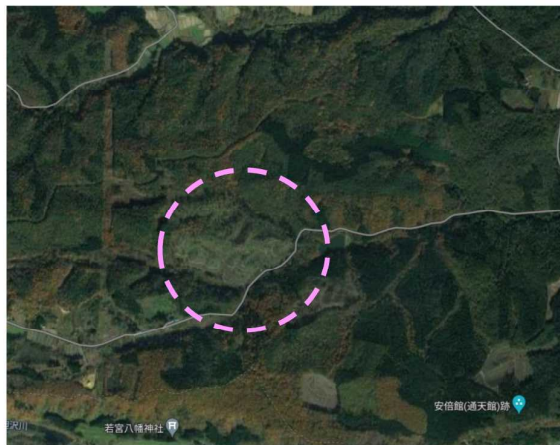
奥州地方森林組合

エ 実施面積（プロット数）

12.43ha（6ヶ所）

オ 調査結果

下表のとおり



施工地の概要



施工地の実施前の写真

A-21-1（金ヶ崎町）

集計	本数	割合
カエデ類	71	34%
ホオノキ	49	23%
サクラ類	23	11%
クサギ	22	10%
コブシ	12	6%
アオダモ	8	4%
その他※	26	12%
	211	本/0.06ha
	3,516	本/ha

※その他樹種

- アズキナシ シナノキ
- エゴノキ ナラ類
- ナナカマド アオハダ
- ハクウンボク タカノツメ
- コシアブラ モミジ類

高木性広葉樹の本数



林内写真

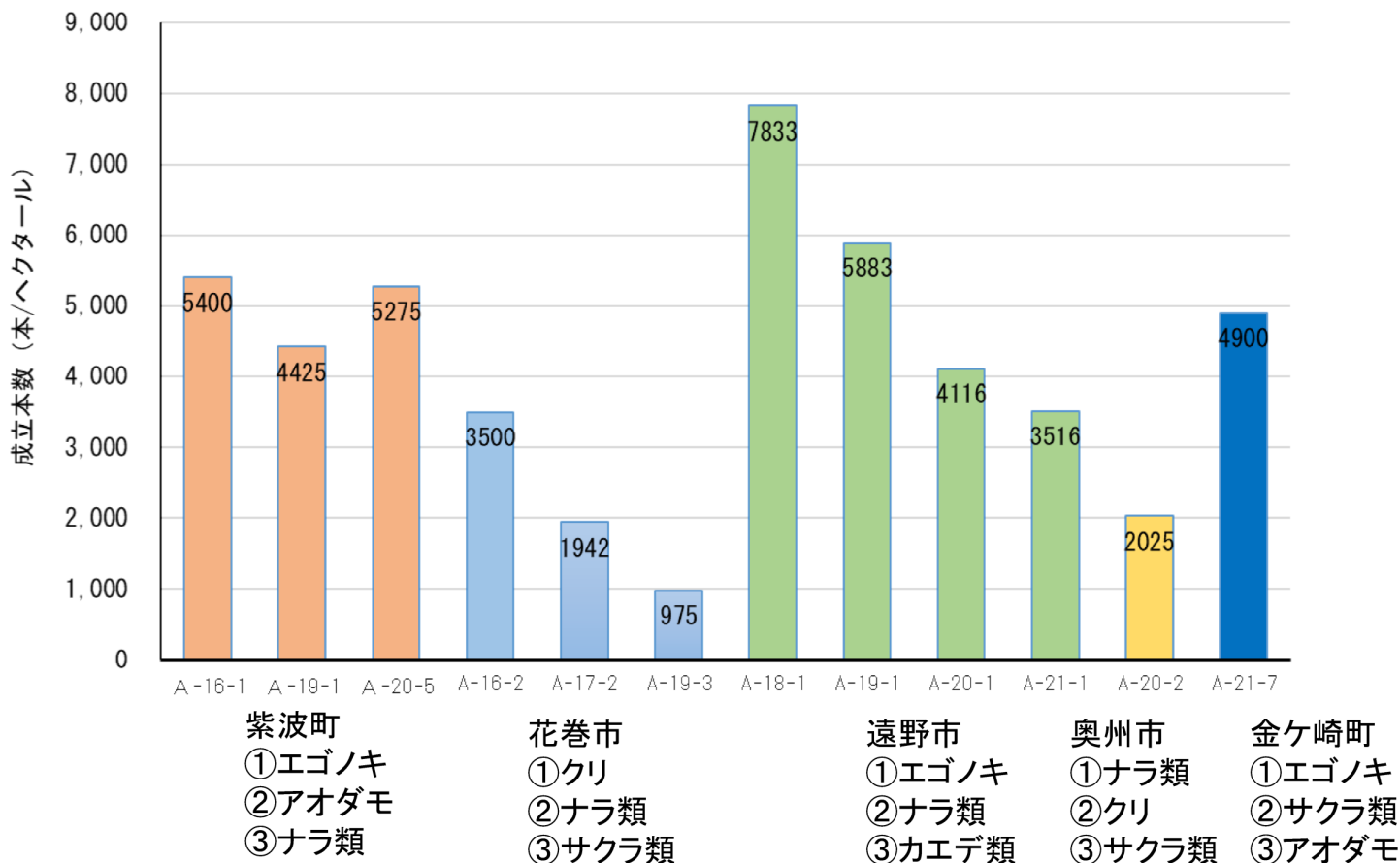


図 施工地(市町村別)と施工年度別の高木性広葉樹の成立本数

5 まとめ

- (1) アカマツ林広葉樹林化を実施した施工地は、今回の調査において胸高直径 1 cm以上の広葉樹の生育を確認。
- (2) 主な高木性樹種は、エゴノキ、クリ、ナラ類、アオダモ。
- (3) 成立本数は、975本/haから7,833本/haまでと、施工地によりバラツキがある。